

## 児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2020年3月4日

事業所名:多機能型児童発達支援ルーム あすたむ

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○			1グループ4名までの受け入れに対して、119.13㎡の療育室・相談室を当てている	95	2		・少人数態勢なので活動スペースは十分に確保されていると思います。 ・たくさん動けるのでとても良いです。 ・身体が大きくなると狭く感じるのかなと思う。 ・4人になると狭いかなと思う。	
	2 職員の適切な配置	○			1グループ4名までの受け入れに対し、保育士3名・児童指導員1名・作業療法士を配置している	87	2	5	・必ず1対1になるようになっているので安心しています。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい特性に応じた設備整備	○			屋内外玄関スロープ、文字とイラストによる表示、小児用暖房便座、クッション性の高いフロアにて対応している	92			・興味のある物を使って今何をするのか、上手に誘導していてすごいなと思いました。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○			1セッション毎の機器や器具の消毒、間接照明、温度湿度や換気への配慮を行っている	95			・周りにマットを敷いたりして配慮がされていました。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○			個別のケース会議や運営方法の会議は行っているが書式や方法は開設間際でもあり、工夫や変更の段階である					
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○		相談支援専門員や保護者の評価や意見要望は受けているが、正式な第三者評価員は決定していない					
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			・発達障害研究会・作業療法学会・感覚統合学会等、関係する研修に積極的に参加している。 ・ほぼ月に1回定期的に、外部の医師や専門講師を招いて、周囲関係事業者・保護者への公開講座を開催する。					
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○			児の発達の程度や感覚の度合い、思考等を評価したうえで保護者の気がかり等を総合的に勘案し、個別支援及び特別支援計画を作成、保護者に説明し同意を得ている	92			・感染面に気を付けなければいけない事が計画に記入しており、本人に合った計画だと思いました。	JSI-Rを用いて、感覚統合と適合反応の評価を行っています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○			発達機能面をはじめ日常生活や集団、社会生活を考慮し作成した支援計画に基づき、個別の支援や課題に取り組んでいる	92	2	2	・毎回感染面で体温を測って下さり、筋力をつけるためにハイハイや歩く練習をしてくださっています。	

区分		チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
提供	3	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			目的別で1グループ4名までの小集団にて、対人スキルや社会性を、1対1の個別活動で対象児独自の支援を行っている	/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない	保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	○			児童1人毎の担当者・児童発達支援管理責任者・療法士が個別支援計画及び特別支援計画に沿って支援を行っている	92			2		
	5	○			その日のリーダーが通所児童とグループ毎の内容を立案し、毎朝その日の活動内容についてミーティングを行う際に職員間で内容について協議している。						
	6	○			児の発達段階や成長により、活動内容に変化を取り入れ、その時に応じた支援活動に反映している。	82	12	2	2	・色々な活動をあつまりでしたり身体を動かしてもらって工夫しているなど思っています。	同じ内容や遊びでも、刺激の度合いや反応の変化のための段階付けを行っている。
	7		○		1グループ1時間（児童発達の低月齢児と放課後デイは1.5時間）制の固定プログラムであり、曜日や休暇では特段分けていない						
	8	○			その日のリーダーが、通所児童とグループ毎の内容を立案し、毎朝その日の活動内容についてミーティングを行い職員間で共有している。						
	9	○			活動終了後の記録時に、職員間で各児童で気になった点や変化事項、個別活動内容や保護者からの情報を共有している。						
	10	○			1セッションの中の各活動の参加状況や様子・反応と、保護者からの情報や今後の課題や考察を記録している。						保育士・児童指導員・療法士の専門的視点の記録は、特記事項に記録している。
11	○			児童発達支援管理責任者と児の担当者・療法士、管理者が確認し合い計画見直しし、保護者の意見要望も加えて見直しを行っている							
関係機関との連携	1		○		担当者・児童発達支援管理責任者・療法士が参画するようにしているが、その日の利用児の支援・活動に影響がある場合は最もふさわしい者が出られず出席者が報告書代読のこともある						
	2				(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施						



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	○			母子通所であるので、都度毎に家庭での変化や気がかりなどを尋ね、反応や日常の状況と発達の関係や課題を話し合っている	80	18		2	・今の筋力の状態を丁寧に教えて下さるので家でも練習が出来ます。	
	5	○			来所時間内に児の家庭での様子を尋ねると共に、保護者の悩みや少しでも安心して育児ができるように傾聴と提言をしている。	70	18	2	8	・家での遊び方や病院での事、訪問リハビリについて色々お話ししていただき、日ごろの事など活動を通してお話ししています	
	6			○	決まった会はないが、2ヶ月に1回の保護者・関係機関対象の勉強会にて意見や情報交換共有を行ったり、児の同グループの保護者同士が情報交換を行っている	5	30	25	38	・必要性を感じていない ・会があるのかどうか知らない。 ・参加したことはありませんが、何か会がある時はプリントを配布してくださっているので連携が支援されていると思います。	
	7		○		苦情等が出た際には真摯に対応し改善に活かすとともに、定期通信やホームページにて公表する	35	13		53	・苦情を聞いたことも言ったこともないので、分かりません。	
	8	○			当該児や保護者が理解しやすい方法（絵や図、簡易な説明等）で伝達している	78	2		8	・積極的にコミュニケーションを取っていただいていると思います。	
	9	○			季刊発行の新聞にて活動内容や職員通信、提言などを発信している	63	8		30	・プリントが配布されるので分かりやすいです。	
	10	○			個人記録は専用の書庫に収納するとともに、新聞掲載写真や記事も個人が特定できないよう配慮し、見学者や視察がある際も児の保護者全員に確認了承を得ている。担当者会議や研修等に個別支援計画や現在の様子を使用する際には保護者の確認了承を得ている。	75			5	個人情報の保護に関しては職員教育の中で厳しく指導教育し、なおかつ誓約書も提出しております。個人記録や作品、写真はロックがかかる物へ厳重に保管しております。	
非常時等の対応	1	○			緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルを作成し、保護者が確認できるように療育室に配置している。	45	20	8	28	・あると思いますが、よく知りませ	療育室の壁に掲示しておりますので、そのことを再度周知いたします。契約時にも詳細を説明するようにいたします。
	2		○		計画中であり、年度内に実施予定	13	2	2	56	・いざという時の避難方法が分かりません。 ・日が浅いのでわかりません。	1時間ごとの療育のため全員の方にまだあたっておりません。極力全グループで訓練が行えるように計画しています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の対応 (続き)	3	○			研修会に参加し、虐待防止マニュアルを作成し、職員間で共有している。						
	4			○	身体拘束が必要と思える児がいないため、具体的な組織制訂や対応は未実施であったが次年度は実施予定						
	5		○		食事やおやつ等の食品の提供はしておらず、水分補給の飲料物は持参してもらっているため非対応						
	6	○			書式を作成し、事例発生時には報告書を作成し職員間でも共有している。						ヒヤリハットの報告に基づき、「どうあれば防げたか」を生かすようにしている。